



第8回 「四国の鉄道を考える」 国会議員連絡会開催!

政策課題の解決と 今後の課題について 意思統一!

JR四国労組は、11月11日(金)8時より参議院議員会館会議室において、第8回「四国の鉄道を考える」国会議員連絡会(勉強会)を開催した。

勉強会には早朝より、連絡会に加入する衆参国會議員(秘書含む)並びにJR連合・JR四国労組役員及び会社幹部ら総勢21名が参加し、「税制特例措置(三島・承継特例)」等の支援策及びJR四国の中期収支見通しと今後の課題について意見交換が行われた。

冒頭、連絡会を代表して武内会長は、「国土交通部門会議から党の税調へと議論が進んでいる。来週には税調の総会が開催される予定であり大きな山場を迎える。しっかりと議論し、四国選出の国会議員として声を出して頂きたい」と挨拶があった。

主催者を代表して中濱委員長は、「JR四国は、国鉄から移行して25年を迎えるが、未だ自立経営が困難な状況にある。そのよき中、『税制特例措置(三島・承継特例)』等の支援策が今年度末に期限切れを迎えるが、四国の

鉄道を維持するための支援継続に向け、連絡会各位のご協力をお願いしたい」と訴えた。また、JR連合の坪井会長から、「多くの自治体の方々に、地方鉄道の厳しさを訴え、全国96箇所の議会で意見書採択を頂いた。JR連合としても、JR三島・貨物会社の自立経営を確保するための課題解決に向け取り組んでいきたい」との挨拶を受けた。

その後、嶋田副委員長より、三島・承継特例、意見書採択、署名活動それぞれについて説明と報告を行った。続いて、会社を代表して泉社長から、JR四国の中期収支見通しと税制改正、西牧常務から四国の鉄道の高速化に向けた今後の課題について説明を受けた後、出席した国会議員による活発な意見交換が行われた。

冒頭松野会長から、「今回の税制改正はまさに正念場である。我々の要望事項を勝ち取るべく、最後の最後まで連携して取り組んで行こう」と力強い挨拶があった。



2012税制改正 要望実現集会を開催!

JR連合は12月2日、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムと共催で「JRに関わる2012税制改正要望を実現しよう!」2政策実現院内集会を開催した。

集会には議員フォーラム所属議員約60名が参加した他、秘書、JR各社の幹部、地方議員、JR連合執行部、JR四国労組から参加の19名をはじめとする各単組組合員ら総勢300名ほどが出席し、熱気溢れる集会となった。

冒頭松野会長から、「今回の税制改正はまさに正念場である。我々の要望事項を勝ち取るべく、最後の最後まで連携して取り組んで行こう」と力強い挨拶があった。

続いてJR連合坪井会長が挨拶を行い、「JR三島・貨物にとつて税制支援策は経営安定に資する極めて重要な措置である。101もの議会で税制特例措置延長の意見書採択を署名も集まった。各社の経営基盤の確立を



図るためにも今税制改正を勝ち取らなければならぬ」と改めて決意を示した。さらに、政務・党務の重要ポストに就かれた多くの国会議員から連帯の挨拶を頂くとともに、JR各社(JR北海道、JR四国、JR北九州、JR九州、JR貨物)の会社幹部からもJR連合の取り組みに対する御礼、そしてJR連合とともに実現まで共に連帯する旨の挨拶を受けた。

また、税制改正要望実現に向けて組合員、家族また地域の方のご協力を得て精力的に展開してきた署名活動により集約できた12万2952筆もの署名を、JR四国労組中濱委員長をはじめ、各単組委員長からJR連合国会議員懇談会副会長の榛葉賀津也参議院議員に提出した。その際、中濱委員長から「JR四国はJR三島会社の中で経営基盤が最も脆弱であり、税制特例措置は必要不可欠であり、JR四国労組としても最後まで全力で取り組んでいく」と挨拶



した。最後に特別決議を満場一致で確認し、最高潮の集会となった。JR四国労組組合員19名など単組の組合員でJR三島・貨物税制特例に関する要望の国会議員への要請行動を展開した。

国土交通大臣、 総務大臣政務官へ 署名を提出!

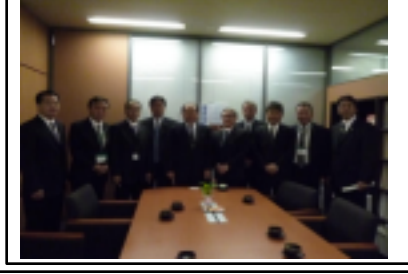
JR連合は12月2日の要望実現集会の終了後、JR連合役員及びJR四国労組中濱委員長をはじめ各単組の代表者で前田国土交通大臣、福田総務大臣政務官に対し署名を提出した。

まず前田国土交通大臣へ要請に赴き、代表して坪井会長から「JR三島会社そしてJR貨物は極めて脆弱な経営を強いられ、今回で期限切れを迎える各種税制特例措置が

なければ、将来に亘つての安定経営はできない。是非とも最後の最後までねばり強く交渉を行っていただきたい」と署名提出とともに訴えた。



その後福田総務大臣政務官を訪問し、署名の提出等要請行動を展開した。



JRに関わる2012税制改正要望の実現を求める特別決議

JRが発足して間もなく25年が経過する。「鉄道の再生」を目的とした国鉄改革の理念のもと、JRは弛まぬ経営努力と、これを支える組合員の懸命な努力により、安全性とサービスを向上させるとともに、国民の足として、さらには地域を支える社会インフラとしてその役割を全うし、日本経済、そして地域社会を支えてきた。

一方で、経営基盤が脆弱なJR三島会社(JR北海道、JR四国、JR九州)及びJR貨物は厳しい経営状況に置かれている。この間、経営安定基金の運用益ないしは税制特例措置による支援策が講じられるとともに、各社とも労使をあげた血の滲むような努力を重ねてきたものの、過疎化、少子化の影響や、折りしもの超低金利による運用益の半減といった外部環境の影響等も相俟って、依然として自立経営確保の見通しが立っていない状況である。

そうした中で迎える2012税制改正は極めて重要な意味を持っている。

JR三島会社及びJR貨物が適用を受けている固定資産税、都市計画税等に対する課税軽減措置、さらには軽油引取税減免措置が本年度末に期限切れを迎える。こうした税制措置はJR各社、とりわけJR三島会社及びJR貨物の安定経営の確保ないしは将来展望を明確にする上で不可欠な措置であり、今次税制改正で適用期限の延長を図ることを強く要望している。

地域の鉄道を維持すべく、100を超える地方議会が当該措置延長を要望する意見書採択を行った。そして12万名を超える全国の仲間が署名行動を展開した。さる11月28日には、民主党税制調査会がJRに関わる各種税制特例措置を重点事項に盛り込んだ要請書を政府に提出した。全ての環境は整った。

JRは未来永劫に亘り地域の足として地域の発展を支え続けていく使命を帯びている。その役割をJRが将来に亘って果たし続けるためにも、今次2012税制改正において、我々の要望事項を必ずや実現させなければならない。要望実現に向けて総力をあげて最大限の取り組みを最後まで展開していく。

以上、決議する。

2011年12月2日

JRに関わる2012税制改正要望を実現しよう!
12・2政策実現院内集会

支部青年女性会議定期委員会 6支部全て終了!



JR四国労組青年女性会議の各支部定期委員会が、11月5日の徳島支部をトップに、11月12日愛媛支部、11月16日日本車支部、11月18日自動車支部、11月19日に高知支部が開催され、6支部全ての定期委員会が終了した。各支部とも10月2日に開催された本部青年女性会議第19回定期委員会に基づき、スローガン、経過報告及び活動方針を提起、各委員から安全・安定輸送、収入確保、来年度から導入される半休制度、保線関



係業務体制の見直し等、職場における諸問題をはじめとする労働条件や今年度未定期限切れを迎える税制特例措置に関する政策課題等について意見が出され、執行部より答弁を受けた後、満場一致で採択された。なお、各支部の新三役は次のとおり



なお、各支部の新三役は次のとおり

議長	窪内 智
副議長	丹下隆司
事務局長	松浦正朗
徳島支部	
議長	弓立雅博
副議長	前田卓也
事務局長	笹岡慎平
高知支部	
議長	佐藤祐一
副議長	山本真二
事務局長	高橋裕喜
香川支部	
議長	田中英敬
副議長	高橋 湊
事務局長	岡林陽子
愛媛支部	
議長	北川豊大
副議長	堺原 啓
事務局長	小比賀加津代

第1回60歳以降の働き方検討委員会を開催!

11月25日(金) 14時より「第1回60歳以降の働き方検討委員会」を開催した。この委員会を設置した目的は、平成22年4月にエキスパー

ト社員制度が導入され1年が経過し、今後、平成25年度からは公的年金の報酬比の部分段階的に引き上げられ、平成26年度からは、60歳を

迎える社員が1000名を超える状況が9年間続く中で、今後のエキスパート社員の多様な働き方を検討することである。第1回の委員会では

第5回本部執行委員会開催

11月25日(金) 第1回60歳以降の働き方検討委員会終了後、「第5回本部執行委員会」を開催した。

冒頭、中濱委員長は、「11月9日の経営協議会において、確定拠出年金制度の導入について及び保線関係業務体制の見直しについて説明を受けた。保線関係業務体制の見直しについては、具体的にはマルチ業務を直轄施工に戻す内容である。今後、組合員の意見を集約し、疑問点等について経営協議会に付議し、説明していく。」

政策に関しては、今年度末で期限切れを迎える税制特例措置について、現在、民主党税制調査会において議論されている中、三島・承継特例を重点項目に挙げるべくJR連合・JR連合国会議員懇と連絡を密にし取り組んでいる。今後、政府税制調査会での議論に向けて進むこととなるが、最後まで精一杯取り組んでいきたい」と考え

を述べた。

経過報告と議事については次のとおり。

- ・【経過報告】
 - ・(組織) 組織の強化拡大(経協)
 - ・中間決算(JR四国・ジェイアール四国パルス)
 - ・保線関係業務体制の見直し、確定拠出年金制度の導入(回交)
 - ・平成23年度の年末手当・年末賞与(JR四国・ジェイアール四国ハス)
 - ・(青女)
 - ・支部青年定期委員会(徳島・愛媛・本社・自動車・香川)
 - ・第21回本部ゴルフ大会
 - ・(政策) 第8回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」
 - ・「JR三島・貨物会社の自立経営確保をはじめとした、JRが抱える課題の解決を求める署名」の結果
- ・【議事】
 - ・60歳以降の働き方検討委員会について
 - ・平成23年度の年末手当・年末賞与の妥結承認について
 - ・ダイヤ改正実施に伴う経営協議会の付議事項について
 - ・JR四国労組「新春交歓会」の開催について
 - ・出席者、招待者について
 - ・特別功労者表彰及び

は、今後のスケジュール等について確認すると共に、アンケートの実施を含め、エキスパート社員の多様な働き方について議論を進めていくこととした。



新成人への記念品の贈呈について

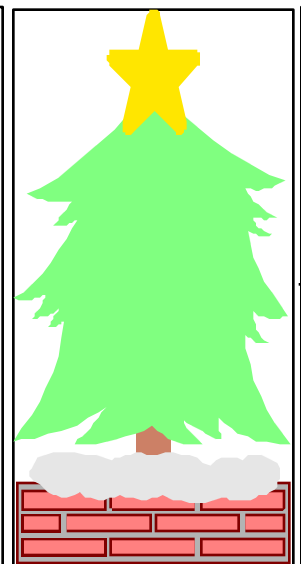
JR四国労組「第25回定期本部委員会」の開催について

招集について

- ・特別本部委員、傍聴者及び会場係の取り扱いについて
- ・活動方針骨子(案)について
- ・当面するスケジュールについて
- ・その他
- ・分会大会の開催日程について
- ・男女平等参画推進委員会の開催について
- ・第2回60歳以降の働き方検討委員会の開催について
- ・次期(第6回)執行委員会の開催について

JR四国労組
第25回定期本部委員会の開催について

- 1 日時 平成24年2月10日(金)
13時より17時まで
- 2 場所 「ホテルサンルート瀬戸大橋」
- 3 議題
 - (1)定期大会以降の経過について
 - (2)2012春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針(案)について
 - (3)その他



JR四国労組
2012年「新春交歓会」の開催について

- 1 日時 平成24年1月8日(日)
13時より
- 2 場所 「ホテルサンルート瀬戸大橋」
- 3 内容
 - 13:00 開会
 - 新春交歓会
(表彰及び成人祝典を含む)
 - 15:30 閉会